



# かけこ通信

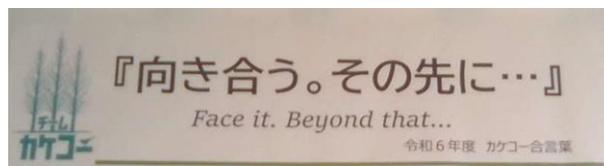
令和6年度 第1号  
令和6年4月18日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校発行(文責:小川)

## 令和6年度スタートしました

4月8日(月)着任式・1学期始業式を行い、令和6年度がスタートしました。みんなの“やる気スイッチ”はオンになっています。

本間校長から『今年度のカケコー合言葉は昨年度から継続して【向き合う。その先に…】です。ただ、今年度は副題として英文も添えました。【Face it. Beyond that…】です。「Beyond」には、「～を超えて、～以上に」といった意味があります。今の自分を少し超えて、今以上の自分をめざして、今一度自分自身に【向き合って】みませんか?創立80周年に向けて71周年となる今年度、皆さんにとっても学校にとってもよいスタートが切れることを願っています。』と言葉がありました。

(校長の始業式式辞全文はこちらから→)



## 令和6年度入学式を行いました

4月10日(水)入学式を行いました。前日までの雨がうそのようにきれいに晴れ渡り、暖かく、穏やかな春の日差しが降り注ぐなか、在校生や来賓の方々、保護者、教職員に見守られて、新入生29名が入学しました。

本間校長から新入生へ向けて、まず『高校入学というこの機会に、これまでの自分に少し向き合ってみませんか?そして、これまで経験してきた多くの分岐点で決断をしてきた自分を認めてあげてはどうでしょう。色々あったかも知れないけど今この場所にいるじゃないか。頑張ってきたね自分!向き合うその先には、きっと新しい世界、可能性が開けていると思います。』、そして『自分を表現するために、もう一人の自分になって自分自身の内面と向き合ってみませんか?一人ひとりに内在する可能性の芽は、ほかの人と比べるものではありません。その可能性の芽を見つけたら、自分なりの方法で少しずつ大きく育てていきましょう。その先に、あなた自身のパーソナリティーが形づくられていくはずですよ。そして、自分なりの方法で、自分を表現していきましょう。急がなくてもいいですよ。じっくりゆっくりと向き合っていくいきましょう。』と、2つのメッセージが贈られました。

入学式のあとは、玄関前で保護者・教職員全員を交えた記念撮影を行ったのち、前日に在校生・教職員が心を込めて準備した教室で初めてのホームルームを迎えました。真新しい制服に身を包み、緊張のなかにも初々しさがうかがえる一日となりました。(校長の入学式式辞全文はこちらから→)



## 対面式を行いました

4月11日(木)1限に対面式を行いました。生徒会執行部が中心となって、その企画と運営をしました。



生徒会長、新入生代表のそれぞれの挨拶から始まり、各部代表による部活動紹介、執行部制作の学校紹介動画の上映、先輩としてのバス乗車マナーのレクチャーなどを行いました。カケコー生活に

一日も早く慣れてほしいという2・3年生の気持ちから、いろいろと工夫が凝らされた、和やかで楽しい対面式となりました。そのおかげで、1年生の緊張も少しずつほぐれていく様子でした。

先輩たちのように充実した学校生活が送られることを期待しています。



## 1年生オリエンテーション/2年生から1年生へ地域学習の“引継ぎ”がありました

対面式のあとは1年生はさっそく、生徒・図書指導・進路指導・教務・保健指導の各担当から説明を受けました。細かな説明にもみな真剣なまなざしでした。

そして、翌4月12日(金)6限の総合的な探究の時間には、2年生から、昨年度1年間かけて掛合町内5地区に分かれて取り組んだ地域学習の成果と課題について報告がありました。これを受けて、1年生は今年度の自分たちの探究活動を始めていきます。



先輩たちの取り組みと  
思いは1年生へと引き継  
がれることとなります。

## 着任者を紹介します

3名が着任し、新体制「チームカケコー」がスタートしました。どうぞよろしくお願いいたします。

[写真中央] おがわ つよし 小川 剛 副校長(数学)、[同左] いしはら まちる 石原 衛 教諭(保健体育)、[同右] やまもと ともこ 山本 朋子 教諭(家庭)





# かけこ通信

令和6年度 第2号  
令和6年5月17日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校発行(文責:小川)

## 遠足へ行きました

4月26日(金)全校生徒そろって遠足へ行きました。行き先は「三次もののけミュージアム」「国営備北丘陵公園」でした。

学年別にバスに乗り込み、まず「三次もののけミュージアム」へ行きました。常設展示室「日本の妖怪」「稲生物怪録(いの



もののけろく)」や企画展

展示室「妖怪大行進 in Japan」、チームラボ妖怪遊園地を巡りま

した。妖怪物語『稲生物怪録』の舞台となった三次の地で、日本

の民俗・精神文化を学び、

「もののけ」の世界観や

町歩きを楽しみました。

その後「国営備北丘陵

公園」へ移動し、昼食をと

りました。昼食後は、広い公園内をそれぞれ思い思いに散策しながら、心身をリフレッシュし、友人たちとの親睦を深めました。

4月の慌ただしかった学校生活を離れ、たいへん有意義な一日となりました。



## 防災教育を行いました

5月10日(金)防災教育を行いました。避難経路と避難の仕方、安全の意識と身近な危険を認識することが大きな目的でした。この先迎える梅雨を前に、土砂災害を意識した訓練が主な内容でした。

掛高の校舎は土砂災害警戒区域にあり、常に校舎裏の山側斜面崩落の危険を想定して避難できるよう確認しました。



## 点上会を行いました

5月16日(木)から始まる中間考査を前に、5月10日(金)から点上会(平均点を向上させる会)が始まりました。

15日(水)までの期間、授業が終わった後に全員が自学するための時間を確保して、ノート整理やプリント学習を教室で静かに行っています。1年生も高校生活初めての考査に向けて全力を集中しています。



## 2年生営農体験実習(田植え)を行いました

5月9日(木)に2年生が「営農体験実習(田植え)」を行いました。当日朝はあまりの寒さに震えましたが、やがて好天に恵まれ、気持ちの良い気温の中で実習を行うことができました。



午前中は、まず宇山営農組合代表理事の藤井さん、理事の須山さんから、組合の現状や課題、「たたら焔米(ほむらまい)」「うやま米」の米作りの様子などを、クイズを交えて詳しくお聞きしました。次に、雲南市農業畜産課の野々村さんから、輸出先の台湾について写真をふんだんに使って紹介していただき、お米について学習しました。その後、2班に分かれて、営農組合のお二人へインタビューをしました。米作りのやりがい・楽しさや苦労、宇山地区のお米のおいしさなど、次々に質問しました。

昼食は準備していただいたうやま米のご飯の入ったお弁当をいただきました。一口目から歓声が沸き上がるなど、お米の甘さやおいしさを味わいながらその魅力を感じることができました。



昼食後はいよいよ田植えです。農具「ばばひき」を使ったライン挽きも教えてもらい、その線の上に、全員で苗を植えていきました。田植え経験者も何人かはいますが、多くの生徒は初めてでした。青空の下、賑やかな声と足元がおぼつかない中で、思わず尻もちをついたり、泥だらけになったりして、農家の方々の



大変さを実感することができましたが、「楽しくて時間があっという間だった」「またやってみたい」とみんなで協力して田植えができたことに達成感を抱く生徒も多くいました。

今後も、宇山営農組合の皆様や関係方面の方々と協働しながら「たたら焔米」「うやま米」の販売戦略、広報などを行っていき、秋には稲刈り、台湾研修での販売も体験します。

すがすがしい天気の下、どんどん緑の稲がきれいに植えられていく様は見事なものでした。



## DXハイスクールに採択されました

『高等学校DX加速化推進事業(通称DXハイスクール)』は、文部科学省が「高校段階でデジタル成長分野を支える人材育成の強化」を目指し新たに立ち上げた事業です。デジタル教育の拠点として全国の高校から1010校(うち県内27校)が採択され、掛合分校もその1校として選ばれました。

今後はICT活用のための環境を整備して、近隣の小中学校との交流など地域連携を図り、高校生が地域の小中学生にデジタル技術を指導するなど、デジタル人材の育成につなげたいと考えています。



# かけこう通信

令和6年度 第3号  
令和6年6月17日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校発行(文責:小川)

## 1年生掛合町内バスツアーへ出かけました

5月21日(火)1年生の地域交流学習がスタートしました。手始めは、広い掛合町の5地区をバスで巡る「掛合ツアー」です。この取り組みは今年度で3回目で、各地区の寺社や名所をまわり、地区の方のお話をお聞きして学ぶことを目的としています。

### ① 波多地区…波多神社

宮司さんと禰宜さんから神社の由緒や過去にあった大杉、はやしこなどの伝統行事へかける地区の方々の熱い思いをお聞きしました。

### ② 入間地区…八重山神社

交流センター長さんから神社の由来や花田植えのお話をお聞きしました。神社への急な階段に息も上がりましたが、みんなで声をかけあって登ることができました。大岩を背景にした神社には建立の謎が深まりました。

### ③ 松笠地区…龍頭が滝

松笠ご縁の館会長さんのご案内で滝の名称の由来、滝にまつわる伝説などお聞きしました。実際に見た滝には歓声が上がりました。

した。汗ばんだ体にマイナスイオンの風が心地よかったです。

### ④ 多根地区…円通寺

前会長さんから「多根」の由来や円通寺の由緒や秘仏についてお話しいただきました。現在は住職の方が不在であることなどお聞きし、なんとかしたい思いがわきました。生徒たちのにぎやかな声に前会長さんも喜んでくださいました。

### ⑤ 掛合地区…かけや酒蔵資料館

分校の近くにありながら、生徒たちにはあまり知られていなかったかもしれません。日本酒の醸造過程などを見学できる施設で、展示室での映像などもあり、日本酒の文化を学びました。立ち上る日本酒の香りに酔いしれました。



1年生は担当地区を決め、昨年度の1年生の活動を継承しつつ自分たちで創意工夫を重ねながら、今後、地域課題に取り組んでいきます。

## 「入間 Day」に参加しました

5月26日(日)を「入間 Day」として、1・3年生が「入間花田植え」に、2年生が「八重滝を見学するツアー」にそれぞれ参加しました。

まず、入間交流センターをはやしこ行列が田んぼに向けて出発し、女子生徒は伝統衣装を身につけ早乙女(さおとめ)となり田植えを、男子生徒は法被(はっぴ)を着て苗渡しをしました。地域の方や分校の卒業生たちの参加もあり、総勢40名ほどの早乙女さんが一列になって、賑やかに田植えが行われました。

1年生の多くは初めての水田で、始めは思うように進めない者がいました。また、昨年度宇山地区での田植えを経験した3年生にも、おはよしの早さに追いつかず戸惑いが見られましたが、いずれも徐々にペースをつかみ、地域の方々と一緒になって笑顔で楽しんでいました。苗渡しの男子も早乙女さんの植えていく様子を後ろからしっかり見守りながら、絶妙のタイミングで苗を渡していました。



2年生は、昨年度の掛合町内バスツアーにおいて八重山神社を見学しました。それをきっかけとした一年間の探究学習（地域学習）で入間地区を希望したグループは、八重滝を回るスタンプラリーを企画しスタンプを作成しましたが、その設置までは至らず、残念ながら昨年度中には八重滝へ行けないまま終わりました。そのため、今回はその希望を叶える形にもなりました。

25度を超える気温でしたが、心地よい溪流のせせらぎを聞きながら、散策を楽しむことができました。



## 校外進路学習へ出かけました

6月6日（木）全校で校外進路学習へ出かけました。企業見学コースと専門学校見学体験コースに分かれて、バス3台で出発しました。

午前中に企業見学コースは、株式会社丸八ポンプ製作所島根工場、ウィンテック株式会社斐川工場を見学しました。それぞれ製造工程などを見学し、製品の一つ一つができあがっていく様子などを目の当たりにしました。製造業と一口に言っても様々な分類があり、私たちの身近にも伝統のある、また世界に誇れるものづくりをされている会社があることに気づきました。



また、医療系学校見学コースは出雲医療看護専門学校へ、医療系以外の学校見学コースはさらに坪内総合ビジネスカレッジ、松江栄養調理製菓専門学校の2つ学校に分かれて訪問しました。丁寧な説明や見学、実習体験など、それぞれの学校で様々な様子を見て、体験しました。最先端の機器類を取り入れた実習や先生・学生さんたちの説明を見聞きすることで、それぞれの学校の特色や具体的なイメージ、雰囲気などを直接知ることができました。

午後からは、すべてのコースが一堂に松江テルサに集結し、ライセンスアカデミー主催の企業ガイダンス・進学ガイダンスへ参加しました。希望のブースを回り、大学・専門学校や企業等の様子を詳しく知ることができました。

今回学んだことを参考に、自分の進路に向き合ってくれることを願っています。

## 3年生ボランティア研修会(絵手紙ワークショップ)を行いました

6月10日（月）1・2限に、3年生ボランティア研修会（絵手紙ワークショップ）を行いました。

「様々なボランティア活動があることを知ろう」「ボランティアの素晴らしさについて知ろう」「ボランティア活動のやりがいや楽しさを体感しよう」の3つを目的に、雲南市社会福祉協議会、三刀屋絵手紙ボランティアの会から講師をお招きし講演いただきました。特に『ボランティアは、自分の得意なこと、やってみたいこと、気になること、好きなこと、放っておけないことなどを、誰かのために活動することであり、決して特別なものではない。そしてその活動が自分自身を成長させるきっかけにもなる。』という言葉がたいへん印象的でした。



その後、絵手紙ワークショップに移りましたが、普段の水彩画とは違い、「決まったかき方や形式がない、感じたままに自由にかこう。ヘタでいい、ヘタがいい。」と助言をいただきながら、具体物を前に筆を動かしました。「送り先は地域の方に」と受け

取る方が見えない中での活動でしたが、それぞれの発想を頼りに、絵とことばをかいていきました。

写真の成果物をご覧ください。『誰かのためになってうれしい』→『そして自分もうれしい』と感じた生徒が多くいたはずです。





# かけこう通信

令和6年度 第4号  
令和6年7月17日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校発行(文責:小川)

## 「映像・画像の記録講座」を行いました

6月10日(月)6限に、元NHKディレクターの伊藤耕一さんを講師にお招きし、学力育成事業「映像・画像の記録講座」を行いました。「相手に伝わる映像や写真の撮り方について学び、発表資料やレポート等に活用できる映像や写真を残せるようにする」を目的に、「ものをわかりやすく伝える視点とは?」「伝えるためにはどのような映像、画像が必要か?」をわかりやすく説明していただきました。また、先月参加した入間花田植えにおいて、写真係の生徒が撮影した画像をもとに講評も行っていただきました。



『自分の気持ちや考えを相手にいかにわかりやすく伝えるか』は普段の学校生活においても大きなテーマの一つです。『生徒自らが自己を深くみつめることにより自己肯定感を高め、地域に対する誇りももてるように「対話のある」学校づくりに取り組み、地域を牽引する学校にしたい』と今年度の学校の思いを設定しています。当日は1限の3年生ボランティア研修会(絵手紙ワークショップ)も併せて、『伝える力』を育む有意義な一日となりました。

## 芸術鑑賞(演劇)を行いました

6月11日(火)午後、三刀屋文化体育館アスパルで、本校・分校・出雲養護学校雲南分教室の生徒たちを一堂に会して「合同芸術鑑賞」を開催しました。今回は、東京芸術座からお招きした公演「十二人の怒れる男たち」を鑑賞しました。



事前に「公共」の授業でこの演劇の内容にふれ、日本の裁判員制度(陪審員制度)について学習しました。この制度が始まって今年で15周年ですが、この間に一般市民が「裁く側」として実際の公判に臨んできました。

12人の陪審員による密室での議論に見ごたえがありました。徐々に明らかになる事件の詳細と矛盾箇所の指摘に、「偏見は真実を曇らせる」というメッセージがリアルに伝わってきました。

## 第1回「先輩は語る」を行いました

6月25日(火)5・6限に第1回「先輩は語る」を行いました。当日は午前中までに期末考査を終え1学期の区切りをつけたところでしたので、生徒たちは皆一様にホッとした表情を浮かべていました。2学期に向けて、気持ちを早めに切り替えてもらいたいという意味を込めて、進路学習の一環で毎年この時期に行っています。



先輩たちの就職先、進学先での現状や苦労話などを聞き、自分の進路意識の高揚を図ることを目的に、就職はフォレストアドベンチャー・たなべたたらりの里、自衛隊から、進学は島根県立大学短期大学部、花園大学からそれぞれ1名ずつ、令和4年度の卒業生に来ていただきました。先輩たちは現在の様子はもちろん、高校生活のいつ頃から進路に向けた準備をしていたのか、高校生のうちにやっておいた方がよかったことなど、当時のエピソードも交えながら、生徒たちにわかりやすく、参考になることをたくさん話してくれました。同年代の先輩たちから貴重な経験談を聞くことができ、たいへん有意義な時間でした。



生徒たちには今後の高校生活でしっかりと自分と向き合い、その先の進路実現に努めていってほしいと期待しています。

## 掛合小学校とコラボ昼休み活動を行いました

7月3日（水）のお昼に、お隣の掛合小学校とコラボ昼休み活動を行いました。給食をすませた小学生たちは、分校の玄関前に生徒たちを迎えに来てくれました。出待ち状態の小学生を前に、授業を終えて出てきた高校生たちは最初は戸惑っていましたが、次第にペースをつかみ、一緒ににぎやかな時間を過ごしました。



体育委員を中心に交流を予定していましたが、飛び入り参加の生徒たちも加わり、小学校の体育館でドッジボールや、外階段下の遊具でブランコ・うんてい、グラウンドでおにごっこ・一本橋など、めいめいが好きなあそびをしました。

前日までの雨模様がうそのようにこの日は天気が良く、また30度を超える暑さも加わって、熱中症も心配されましたが、何事もなく、楽しく交流活動ができました。

## 掛合小学校2年生が「町たんけん」に来てくれました

7月4日（木）掛合小学校2年生が生活科「町たんけん」の学習で掛合分校に来てくれました。玄関ではみんな揃って大きな声で挨拶し、廊下で高校生が準備した「ケンケンパー」を元気よく飛んで、音楽室でかけこウイズに挑戦、そのあと答え探しやスタンプ集めにコイの池や職員室、1年生教室、玄関前、2年生教室、3年生教室、図書館など校舎内を探検しました。



高校生の授業の様子を見たり、図書館の本の数にビックリしたり、見るものすべてに小学校との違いを発見したりしたことを語ってくれました。

終わりの会ではクイズの答え合わせ、事前に用意した分校への質問など、元気いっぱい発言してくれました。



## 体育祭を行いました

7月12日（金）三刀屋文化体育館アスパルで体育祭を行いました。この前日の現地リハーサルまでは、連日降る大雨にたいへん心配させられました。体育祭当日も途中雨が降りましたが、屋内開催のため、安心して行うことができました。



開会式後にはPTAから会長様の激励の言葉と差し入れをいただき、競技が始まりました。

2種目めの「サイコロリレー」は、走る前にサイコロを振り、バトン代わりにそのサイコロを持って出た目の数が書かれたコーンを回ってゴールラインへ戻り、次の走者へバトンパスするという新種目でした。走力だけでなく、運（サイコロの目）も味方につけなければ早くゴールできないため、苦戦する生徒が続出するなど、白熱した競技が繰り広げられました。屋前には応援合戦がありました。赤組、青組それぞれにここまで準備してきたダンス、デコレーション、衣装をしっかりとアピールし、どちらの組も3年生中心によくまとまっていました。午前の部が終わった時点で競技得点は僅差、午後の部開始の「綱引き」にますます白熱した闘いが繰り広げられ、最後の「選抜リレー」は、走者はもちろん、見ている全員が感動と興奮の渦に巻き込まれる接戦でした。まさに体育祭テーマ「優気皆大福（ゆきみだいふく）～諦めず闘え～」（皆が優しい気持ちで闘えば大きな福がもたらされる）にふさわしい闘いでした。



競技、応援、衣装、デコも含めた総合優勝は青組でした。赤組もわずかの差でしたが、精一杯闘っている姿は素晴らしいものでした。勝ち負けに関係なく、今日のこの日のために準備を重ねてきた成果を発揮し、全員がこの体育祭にしっかりと向き合っていました。そして終わったその先に、みんなで作り上げた小さな学校でも大きなパワーを感じられる体育祭がそれぞれ思い出に刻まれたことと思います。ここで身につけた力を基に、今後の学校生活を充実したものにできると信じています。

朝早くからたくさんの方の保護者の皆様にも応援していただき、ありがとうございました。



# かけこ通信

令和6年度 第5号  
令和6年8月19日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校発行(文責:小川)

## 2年生地元企業見学へ出かけました

7月17日(水)2年生が地元企業見学へ出かけました。

当日は雲南市の協力を得て、協栄金属工業(株)、島根イーグル(株)、(有)本田商店、TOA(株)出雲工場・研究所の四社を見学させていただきました。事前に雲南市が掲げる「地元どんな企業があり、実際にどんなことをしているのか、会社の雰囲気はどうかなどを知り、自分の進路選択の参考とする」というこの企業見学の目的を聞きました。

協栄金属では、会社の概要をたくさんお聞きしたり、実際に金属加工の現場で自分たちの先輩の働く姿を目の当たりにしたりしました。

島根イーグルでは、国産車・海外車のエアコンに必要な部品を作っておられるところを見学し、その部品が世の中のほぼすべての車に対応していることを知りました。

本田商店は、3年前に市内で操業を開始され、出雲そばやパスタの麺を製造されています。美味しいそばづくりのために品質管理を徹底し、チャレンジし続けておられる様子を見ました。

最後のTOAでは、化粧品の製造ラインを見学しました。受託生産が中心ですが、研究部門もあることなども説明していただきました。

どの企業も世界シェアや国内シェアのトップであったり、そこでしかできない技術や製品を持っておられ、また徹底した品質管理など、初めて知ったり体験したりすることばかりで、一日があっという間に過ぎました。

また、お昼は雲南市役所の会議室をお借りし、昼食後には議場も見学させていただきました。

今日学んだことを含めて、2学期のインターンシップ、3学期の企業ガイダンスなどでさらに地元企業のよさや素晴らしさに触れ、それぞれの将来へつなげてくれると期待しています。



## 1年生掛合太鼓の練習が始まりました

7月19日(金)午後1年生全員で掛合太鼓の練習に取り組みました。

掛合太鼓の活動は、ここ数年の恒例行事となっており、秋の文化祭で発表したり、掛合町波多地区の伝統行事「はやしこ奉納」につなげたりすることができています。

当日の講師として、今年度から郷土芸能同好会の指導員としてお世話いただいている松下さんにご指導いただきました。

今年の1年生には経験者が数名いるものの、初めはなかなかそろえることができませんでした。しかし、まずはバチの握り方やたたき姿勢を目で見て学び、いろいろなりズムを耳で聴きながら、丁寧な指導もしていただくことで徐々にコツをつかみ、最後は合格点をいただくことができました。息をそろえて一心に太鼓を叩けばなりズムもそろい、全員で作りに上げていく楽しさも得たようです。

地元掛合町に根付く伝統文化を体験しながら、それを受け継いでいくことの大切さも学んでほしいと願っています。



## 1学期終業式を迎えました

7月23日（火）1学期終業式を迎えました。

一昨日21日（日）に梅雨明けが発表され、いよいよ夏本番となりました。様々な行事が行われた1学期も本日で終わり、生徒たちの表情にも安堵の様子がうかがえます。

終業式では校長先生より「自分なりの方法で自己表現ができているかどうか、自己表現につながる自分のストロングポイントは何だろうか」と問われ、県立美術館の展覧会に出展した分校美術担当教員の作品を例に、最後に「自分の心のキャンパスに思いや願いといった様々な

“感情という名の絵の具”を置いてみてはいかがか、と宿題をいただきました。

暑い夏ですが、自分の進路や夏休みの課題、普段できない体験などを通してしっかりと自分に向き合い、それぞれが充実した夏休みを過ごし、2学期始業式が迎えられることを祈っています。

校長の終業式訓話内容は [こちら](#) ↑



## 1年生松笠地区探究班の滝踊り練習がありました

7月23日（火）に1年生松笠地区探究班の滝踊り練習がありました。

これは、5月に1年生全員で町内5地区を巡ったバスツアーでの地域交流学習をもとに、松笠地区を希望した6名が地区の課題に向き合って、今後、課題解決に向け取り組む研究や活動の一貫です。まずは、8月14日（水）に開催される「龍頭が滝祭り」に参加し、滝踊りを披露

する予定です。今回は、松笠交流センターの板持会長様にご来校いただき、その滝踊りの練習でした。

龍頭が滝には6月に訪れましたが、約40mの高さから激しく流れ落ちる滝の姿は壮観でした。当日はそれをバックに舞を披露します。



## 第1回学校運営協議会を行いました

6月28日（金）14時から掛合分校音楽室にて、令和6年度第1回学校運営協議会を行いました。

委員の皆様には今年度の学校運営方針を承認していただきました。また、意見交換においては貴重なご意見も頂戴し、たいへん有意義な時間を過ごすことができました。

3年生の卒業研究発表会にあわせ、第2回は12月を予定しております。委員の皆様には引き続きお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

当日の議事録は [こちら](#) ↑





# かけこ通信

令和6年度 第6号  
令和6年10月15日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校発行(文責:小川)

## 3年生が「ブドウ収穫体験」に出かけました

9月6日(金)に3年生が「ブドウ収穫体験」に出かけました。

これは「地域創造」「生物基礎」の授業の一環として、奥出雲町にあるブドウ園でのブドウ収穫体験をとおして地域産業の1つである果樹栽培の現状と課題等を体験的に学ぶ機会として実施したものです。昨年度、掛合分校の大門教諭(理科・生物)が島根ワイナリーで社会研修を行わせていただいたご縁もあり、今回実現しました。



はじめに担当者の方からブドウの品種やブドウ園の現況についてお話を伺い、赤ワインの原料となる品種メルローの収穫を体験しました。収穫作業は昼食をはさんで3時間ほど行い、ブドウひと房のずっしりとした重さに驚きながら、はさみで丁寧に収穫をしました。昼食には、バーベキューをご用意いただき美味しいお肉に舌鼓を打ちました。

島根ワイナリーの皆様、様々なお心遣いをいただきありがとうございました。



## 保健講座を行いました

9月10日(火)6限に、島根法務少年支援センター・

松江少年鑑別所 統括専門官(公認心理士)の中西誠さんをお招きし、保健講座を行いました。

「生徒の心身の健康の保持増進を図るため。対人関係を円滑にするための距離感を学ぶ。」を目的に、「自分と他の人を守る境界線のおはなし」と題して、わかりやすいスライドとともに説明していただきました。「一人ひとり顔が違うように、一人ひとり心もちがっていて、思っていることや考えていることがちがいます」「一人ひとりの違っている考えや思っていることはどれも大切にされなければなりません」というメッセージの冒頭から、「自分と他人との間の透明なバリア(境界線)を守らない行為はすべて暴力である」こと、特に「からだの境界線・性の境界線の中でとても大切な場所(プライベート・ゾーン)を『さわらない・さわらせない、見ない・見せない』という約束を破る行為はすべて性暴力である」ことを強調されました。そして、  
○境界線が守られないとき:「相手にイヤと言う」「味方になってくれる大人に話してみる」「その場を離れる」  
○境界線を越えるとき:「きちんと言葉で相手の気持ちを確かめる(同意をとる)」

という具体策についても丁寧に教えていただきました。当たり前のように思えるこれらの対応も、とっさにはできないものです。講演を聴くことで改めて認識できました。実際に生徒2人に動いてもらい、距離の取り方、境界線の守り方を見ても学びました。最後には「境界線を守るために、今日から『話をするときの相手との距離』『話しかけるときのマナー』に気をつけよう」と締めくくられました。

今後はこの講演内容を忘れず、他人とのより良い関係を築いていけるように、意識していきたいと思いました。



## 第2回生徒総会を行いました

9月17日(火)4限に第2回生徒総会を行い、生徒会執行部員は3年生中心の前期から2年生中心の後期へと交代しました。

まず、13日(金)の選挙で新しく生徒会長に選ばれた落合さんから、さっそく「文化祭・球技大会の運営等、新しいことに挑戦したい」と所信表明がありました。その後、代議員・選挙管理委員会等の各委員長から、活動目標やその内容、生徒の皆さんへのお願い等が示されました。

後期生徒会の大きな活動に文化祭の企画・主催があります。11月15日(金)、16日(土)の両日の開催に向けて、いよいよ本格始動です。特に2年生は、10月にインターンシップ、台湾研修と大きな行事が迫っています。それぞれが先々の見通しを持って、進捗状況の一つひとつ確認・把握し、互いに協力しながら、いい文化祭を創りあげていってくれることを期待しています。



## 2年生営農体験実習(稲刈り)を行いました

9月11日(水)に2年生が今年度2回目の「営農体験実習(稲刈り)」を行いました。当日は午後から雨が降る

予報であったため、午後に予定していた稲刈りを急遽午前中に繰り上げました。気温30度近い蒸し暑さのなか、何とか天気は持ちこたえました。



吉田町民谷の宇山営農組合にお世話になり今年で4回目となる稲刈りは、5月9日(木)に2年生で稲を植えた田んぼを含めて3枚を、全員で、すべてコンバインを使って刈りました。初めは組合の皆さんと一緒に乗ってアドバイスいただきながら恐る恐る操作していましたが、慣れてくれば徐々に一人で運転させていただきました。

この収穫したお米は、10月25日(金)に台湾研修の一環として、現地での「雪姫舞(つや姫)」の広報・販売活動において販売することを予定しています。



午後は、その広報・販売活動に向けて、これまでプレゼント・交流・試食・イベント・宣伝の5つの班でそれぞれ考えてきた計画や意気込み、販売戦略等の中間提案をし、宇山営農組合、市役所、藤本米穀店の皆さんからその助言や注意をしていただきました。特に、「高校生と地域との交流活動を通して『つながり』を大切にしてほしい」「思いついたことはぜひやってみてほしい。後悔しないように準備し、あとの振り返りに生かしてほしい」とメッセージをいただきました。

10月24日(木)の出発まで残りわずか、この実習を受けて準備もいよいよ佳境を迎えます。

## ICTワークショップを行いました

9月30日(月)3・4限に2年生、5・6限に1年生がそれぞれICTワークショップ(学力育成講座)を行いました。掛合分校は今年度、文部科学省のDXハイ

スクール事業に採択されましたが、その事業費で購入した2台を含む5台の3Dプリンターを使って、各自が持つパソコンChromebookで設計したものを印刷するという「3Dプリンターワークショップ」がその内容でした。



雲南市木次町にあるデジタルラボ「ピコテラス」の鳥谷館長さまを講師にお招きし、はじめに「3Dプリンターとは」、「アプリ『ティンカーCAD』とは」などを講義していただき、その後、実際にそのアプリを使って各自のネームプレートを作製しました。パソコン画面上で積み木をするような感覚で立体を組み立て、それが成

果物として出来上がるまでを体験しました。

2年生は台湾研修でのお米販売の際に、来場者に配るキャラクターづくりにこれから取り組みます。ここで学んだことを生かして台湾の方々喜んでいただけるとよいです。



## 2年生台湾研修事前学習(現地大学生とのオンライン顔合せ)を行いました

10月7日(月)13:30から、2年生が台湾研修で交流する現地の真理大学生5名とオンラインで顔合せをしました。研修初日に、真理大学の淡水キャンパスを訪れます。訪問直後の歓迎会後に交流活動を行い、淡水散策を行います。生徒たちから掛合分校・雲南市の紹介をし、大学見学・授業体験・クラブ体験等の交流活動を予定しています。



今日のオンラインでは、日本語が堪能な学生さんたちに事前に質問状を渡していましたが、丁寧に回答していただきました。「好きなアニメは?ゲームは?日本料理は?」といった質問は生徒たちの反応も大きく、共感するものがありました。しかし、「台湾の魅力は?」「なぜ日本語を勉強しようと思ったか?」「台湾で買うおすすのお土産は?」など、学生さんたちが回答に困るようなよく考えられた質問もありました。



この機会を経て、当日の交流活動が深まりそうです。



# かけこ通信

令和6年度 第7号  
令和6年11月15日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校発行(文責:小川)

## 【特集】2年生が台湾研修旅行へ出かけました

今年度、コロナ禍により延期となっていた2年生「台湾研修旅行」を無事実施することができました。研修旅行実施にあたっては、雲南市役所の皆様、JAや宇山営農組合ほか関係各機関・団体の皆様、地域の皆様、保護者の皆様に多大なご理解とご支援をいただきましたこと、まずもって御礼申し上げます。ありがとうございました。

掛高では、1998(平成10)年に海外研修旅行を開始し、訪問先をシンガポールとして4泊5日の研修旅行を実施してきました。その後20年が経過し研修内容等を検証するなかで、掛高が取り組んでいる「雲南のお米を応援するプロジェクト」といった地域をフィールドとした探究活動との連関も期待できる台湾に訪問先を変更し、2020(令和2)年からの実施を予定していました。しかし、コロナ禍による海外渡航自粛期間もあり実施を延期せざるを得ない状況となっていました。台湾に訪問先を変更して初めてとなる海外研修旅行、また数年間のブランクもあいまって、生徒の皆さんはもとより我々教職員にとっても一からのスタートとなり準備段階において戸惑う点も多くありましたが、雲南市役所、また雲南市PR大使も務めていらっしゃる林 定三様(鼎三国際企業有限公司会長)からの力強いバックアップをいただき、真理大学訪問や台北101タワー横に位置するショッピングモール微風南山店でのお米販売、現地小・中・高校生との交流活動等充実した研修内容を順調にこなすことができました。改めて感謝申し上げます。



2泊3日という短い日程の中、また台風等の影響により雨に降られる場面が多くありましたが、台湾の皆さんのエネルギーなおもてなしに引きずられるかのように、生徒の皆さんが日に日に成長していくようすを目の当たりにすることができました。初めての飛行機、初めての外国等“初めて”が多くあった生徒の皆さんもいたのではないのでしょうか。今回の台湾研修旅行における様々な“未知との遭遇”が、皆さん一人一人の持っている可能性を広げる契機となることを期待しています。(本間校長)

10月24日(木)~26日(土)の2泊3日の日程で、2年生台湾研修旅行を実施しました。

ほとんどの生徒にとっては、初めての海外旅行でありワクワクとドキドキを胸に出発しましたが、台湾の生活習慣や文化に直に触れ大いに刺激を受けました。研修旅行を通して、これまで以上に友達との親睦を深めるとともに、集団行動を意識しながら様々な場面でそれぞれの生徒が割り当てられた役割をきちんと果たすことができました。タイトなスケジュールでしたが充実した研修内容で多くのことを学ぶ機会になりました。

主な研修内容は、次のとおりです。

### 1日目：10月24日(木)

- 真理大学訪問(中国語講義、クラブ体験)

借り上げバスで三刀屋交流センターを出発し広島空港へ。広島空港発台北桃園空港行の飛行機に搭乗し台湾へ。到着後、貸し切りバスで真理大学へ。中国語講義に先立って、代表生徒が大学の先生方や学生の皆さんにパワーポイントを用いて掛合町や掛合分校の紹介をおこなった。中国語講義では、中国語の基本文法について解説を聞いた後、日常会話で使える例文を楽しくレクチャーしていただいた。また、クラブ体験では、アーチェリー部の学生の皆さんに弓の引き方や照準方法を指導してもらいながら射撃体験をした。荒天のため、予定していた大学周辺の街散策と台北101タワーでの夜景展望は中止した。



### 2日目：10月25日(金)

- 十分、九份の観光、微風南山店(お米販売活動)、台北101タワー、寧夏夜市散策

午前は、あいにくの雨天ではあったが十分での天燈上げ体験、九份での観光を楽しんだ。昼食後、微風南山店へ移動し、田植えや稲刈り等で携わったお米の販売活動をおこなった。入間花田植えの衣装を着て、掛合太鼓の演奏、試食の提供、あてくじなどの催し物をおこない、来客者の方に喜んでいただくことができた。また、現地の中高生に販売活動を手伝ってもらったり、夕食



を一緒に食べたりし、貴重な交流の場となった。午後から天候が回復したので、お米の販売活動を短縮して1日目に実施をできなかった台北101タワーでの夜景展望を組み入れ台北市内のきらびやかな夜景を堪能した。



3日目：10月26日（土）

・忠烈祠、故宮博物院、龍山寺の観光

午前には、忠烈祠と故宮博物院を訪れた。忠烈祠での衛兵交代式は、衛兵が足音を高々と鳴り響かせて行進する姿、息ぴったりに銃剣を振り回す所作は圧巻であった。故宮博物院では、現地スタッフのガイドのもと貴重な美術品を鑑賞した。午後は、龍山寺を訪れ、各々の願い事を念じて台湾式おみくじに挑戦した。その後、台北桃園空港へ移動し、台北桃園空港発広島空港行の飛行機に搭乗し日本へ。広島空港から借り上げバスで帰路についた。（大門）

=====

「台湾研修旅行で生徒たちが得たもの」

掛合分校では、総合的な探究の時間において、地域理解・地域貢献をベースに各学年で学習を進めています。1年時に掛合地区5地区に分かれ、地域の現状、課題、未来を見据えて問いを設定し、学習活動を進めてきました。2年時にはその活動を雲南市に広げ、雲南市が取り組んでいる地元米の販売促進を通して市を盛り上げていく活動に参加しています。

5月の田植えに始まり、雲南市について、雲南市で作られているお米について、宇山地区について、お米の販売の手法について、台湾について、調べたり、台湾の方々と事前のオンライン交流をしたり、地域の方々と協働する中で学びを深めてきました。

そして稲刈りを終え、いよいよ自分たちが育てたお米を台湾で販売する日がやってきました。台湾での販売会は今回が初めてであり、わずか2時間の販売会ではありましたがそれまでの準備には多くの方々の協力を必要としました。販売会の主催者である台湾の会社の会長とその社員の方々、会場となるデパートの担当者、雲南市役所の担当者、学校とそれぞれの思いや考え、事情や都合を言葉の壁と文化の違いを超えてぎりぎりまで調整を続けました。販売会は関係の皆様方の努力と協力がなくては成しえなかったと思います。



当日は午前中大雨のなか観光をし、着替える暇も着替えもないまま会場に向かいました。会場では事前に雲南市の方が荷物の搬入とある程度のセッティングをしてくださっていました。十分に打ち合わせをしたつもりでいてもやはり行ってみると、試食の

道具や配置、着替えの場所、イベントの準備、荷物の搬出など予定通りでなかったり予想外のことがたくさんあったり、トラブルの種が山ほどありましたが、現地スタッフの方やツアーガイドの方までが生徒たちのために自分の事以上に動いてくださり、無事販売会を開催することができました。

生徒たちは花田植えの衣装に着替え、言葉の通じない現地のお客さんに対して臆することなく接し、自分たちの役割を堂々とこなしてくれました。



普段の姿よりずっと頼もしく見えました。オープニングの掛合太鼓と笛の演奏、試食の呼びかけ、イベントの説明とプレゼントの配布など、言葉の通じない現地の高校生と協力して生き生きと活動している姿は、掛合分校が取り組む総合的な探究の時間とこの台湾研修旅行の意義そのものだったと思います。

今回の研修旅行での生徒たちの成長を見て、この一連の学習は、掛合分校を卒業し、地域に根差し地域に貢献しながら生きていく生徒たちの「一本の太い軸」になると、確信しました。（山本）

=====

「如己愛人（にょこあいじん）」

台湾の10月は快適なベストシーズンで平均気温は25℃と示されていましたが、台風の影響で気温は低く冷たい雨の中の研修旅行でした。予想外の寒さと雨、睡眠不足、慣れない香辛料や油っこい食事、街に漂う独特なおいで、体調不良を訴える生徒が数名出ました。



真理大学での野外活動中、冷たい雨と寒さで体調を崩した生徒がいました。大学スタッフは構内のコンビニエンスストアに私たちを案内し、温かいお茶を買って休ませ、薬の心配や体を気遣う言葉かけをしてくれました。たまたま買い物に来たベトナムからの留学生は、大学からMRTの駅までタクシー移動する私たちのために頼んだ9台の車を校門で待つ役を請け負ってくれました。台湾で経験した多くの出来事を思うと、少し大袈裟な表現ですが、如己愛人（己の如く人を愛する）という言葉が浮かびました。

大きなけがや病気もなく2泊3日の研修旅行を無事に終えることができました。帰りの飛行機のなかでは生徒たちから「やっぱり日本がいい」「みそ汁が食べたい」「他の国にも行ってみたい」など振り返りがありました。とても有意義な体験だったと感じています。（藤原）



# かけこう通信

令和6年度 第8号  
令和6年12月13日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校発行(文責:小川)

## 雲南市民生児童委員協議会の全員研修会で講演しました

10月28日(月)に雲南市古代鐵歌謡館ホールで行われた雲南市民生児童委員協議会「全員研修会」において、講演講師として招かれました。「民生委員・児童委員は、人々がその地域で安心し、その人らしい自立した生活が送れるよう常に住民の立場に立ち、身近な相談支援者として活動をしています。今年度は『児童生徒を取り巻く課題や環境の変化を知る』ことをテーマとし、掛合分校の学校運営や生徒の活動等を学び合い、支援を必要とする人へ情報提供するために計画しました。」という趣旨で声がけしていただきました。

約120名の参加者を前に、「『時代が掛高(カケコー)に追いついてきた!』~閉校の危機を乗り越えて~」と題して、生徒数の減少や公立高校の再編計画など、近年の高校を取り巻く状況を説明し、掛合分校がこれらの問題や課題を解決するために取り組んだ、教職員全員が生徒全員を教える「本物の少人数教育」と生徒一人ひとりの自尊感情を育む「本物の地域密着」を両輪とした分校の教育活動について紹介しました。

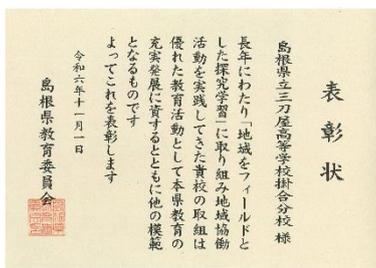


この題目は、昨年11月11日に行った創立70周年記念式典後の記念生徒発表において、発表した3年生がまとめたスライド資料から引用しました。

参加された委員の皆様からは「掛高の様子がよくわかった」「生徒一人ひとりに向き合う先生方の努力がうかがえ、魅力的な学校であると感じた」「分校の現状や存在意義について理解できた」など多くの感想をいただきました。講演の機会をご提供いただきありがとうございました。

## 令和6年度優れた教育活動表彰を受賞しました

11月1日(金)しまね教育の日に、サンラポーむらくもで行われた「令和6年度教育功労者及び教育優良団体表彰式、優れた教育活動表彰式並びに優秀指導者表彰式」において掛合分校の教育活動が島根県教育委員会より表彰されました。



『創立以来、地域に根差し、「地域とともにある学校」を標榜しながら教育活動を行ってきた。そしてこれまで、地域の大人たちとの関わりを深めながら、地域を知り、地域の課題解決のための具体的な提案を行う「地域をフィールドとした探究学習(PBL)」の実践を進めてきた。令和4年度に2年生が取り組んだ「掛合分校がうんなんのお米を応援するプロジェクト」においては、地域の営農組合やアドバイザー等に協力いただいた。地域協働体制を構築することで、専門家からプロの視点で継続的な指導を受けることが可能となり、探究学習の持続可能性が高まると同時に、地域の関係諸機関にとっても価値のある取組となった。また、生徒を対象としたアンケートでは、主体性や地域貢献意識が高まったと回答する割合が大きく上昇しており、プロジェクトを通して生徒の主体性や地域貢献意識が育まれていることが分かった。こうした取組は、本県の教育の充実・発展に資するものである。』と評価され表彰されました。ありがとうございました。

## 『月刊高校教育12月号』(学事出版)に紹介されました

11月13日(水)に学事出版株式会社から発売された「月刊高校教育2024年12月号」において、掛合分校の沿革や特色、校長の経営方針や経営の工夫などを紹介していただきました。全国の特徴ある高校を紹介される「ちょっと拝見 学校訪問」というコーナーです。

演劇同好会に所属した一昨年の卒業生たちの活躍が縁でこの原稿執筆の依頼がありました。

はじめの2ページ分を掲載します。



# 1年生が波多神社秋の例大祭(はやしこ)に参加しました



11月14日(木)1年生が波多神社秋の例大祭(はやしこ)に参加しました。当日は朝の冷え込みに比べ、日中には汗ばむほどの日差しを受けるほど晴天に恵まれました。

1年生は地域をフィールドにした探究学習のなかで掛合町内5地区のそれぞれに課題解決策を検討していますが、波多地区では、この秋祭りのPRポスターを制作しました。はやしこには「波多囃子(はやしこ)保存会」を中心に、地元小中学生と、波多地区で育った方々、さらに波多地区出身者のつながりだけではなく、3年前から掛合分校1年生も毎年呼んでいただいています。

学校から波多交流センターまで移動し、それぞれの役に従って着付けしてもらい着替えました。普段着慣れない、伝統で使われてきた色鮮やかな衣装を大事に身につけさせてもらいました。

12時前にいよいよ出発。学校でも少しばかり太鼓の練習をしましたが、生徒たちは実際のゆっくりした歩みのなかで、伝統文化や波多の町並みなど地域の雰囲気を感じ、楽しみながら練り歩きました。

ゴール地点の波多神社では地域の方からよいはやしこが奉納できたと仰っていただき、参加した生徒たちには疲労感に加え、少し安堵の表情がうかがえました。終わったあとはこの日の空のようにみんながすがすがしい笑顔だったことが印象的でした。伝統文化や地域の思いを実感し、充実した一日となりました。



## 文化祭を行いました

11月15日(金)、16日(土)に文化祭を行いました。

1日目、生徒全員が終日講堂にて過ごしました。保護者や地域の皆様にも多数ご来校いただき、生徒たちの活躍ぶりを見ていただきました。

2日目、校舎内外のいたるところで、生徒による企画・展示をし、PTAや宇山営農組合、キッチンカー、パン業者等による販売活動もさかんに、保護者や卒業生、旧職員、地域の皆様ほか多数ご来校いただき、にぎやかな一日でした。

生徒たち・教職員のすてきな笑顔や生き生きとした表情をたくさん見る事ができました。また、参加した皆さん、楽しませていただきありがとうございました。お疲れさまでした。

2日間で全校生徒数を上回る延べ99名のご来校がありました。たいへん感謝しております。当日の内容は次のとおりです。



### <1日目>

- オープニング
- 生徒研究発表
  - 1年「地域学習発表」
  - 2年「台湾研修旅行を終えて」
  - 3年「地域創造研究発表」
- ピプリアバトル
- 映画鑑賞「メロスたち」
- 掛合太鼓披露(1年生、郷土芸能同好会)

### <2日目>

- 生徒会企画「たからさがし」
- フリー企画

- 1年「フォトスポット」
- 2年「喫茶」
- 3年「フォトスポット」
- 授業作品展示(書道・美術)
- 委員会企画・展示(図書、保健・生徒会、交通、ボランティア、文化)
- 部活動等企画・展示(ESS、パソコン、デッサン・イラスト、商品開発、家庭クラブ、みなふれ大作戦)
- 販売(生徒手作り、宇山米、PTA、キッチンカー、パン屋さん)
- ステージ企画
  - UTaBuメンバー+有志による音楽祭ステージ
- 各種表彰・閉会式



# かけこ通信

令和6年度 第9号  
令和7年1月15日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校発行(文責:小川)

☆あけておめでとうございます。本年も変わらずご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

## 1年生「要約学習」の講義・演習を行いました

12月12日(木)2・3限の1年生言語文化の授業は、飯南町教育委員の鳥田勝信先生を講師にお迎えして、「要約学習」を行いました。鳥田先生には令和3年度から毎年講義をしていただいています。

「要約学習」とは、生徒の調べ学習の実態、プレゼンの実態を打破するべく、

- ①文章を読みながら図式化(文章を立体的に理解する)し、その図式を見ながら作文する
- ②事前に図式を書き、これを手元に置いて語りかけるようにプレゼンする(話す内容を構造化する)

という、機器に頼らず「素話」で伝える力を伸ばすことを目的で始められました。『相手にわかりやすく伝えるためには、自分のなかできちんと理解しておくことが必要であり、長い文章をただ読み上げて説明するのではなく、多くの情報は図式化して、まずは自分のなかで整理すること、そしてその図式を頭に入れておくことで、用意した紙を見ることなく自分の言葉で簡潔に説明ができるようになる』と、演習をとおしてお話いただきました。



多くの生徒たちが、はじめは要約すること、図式化することに戸惑っていましたが、徐々にコツをつかみ、終いにはポイントを押さえた簡潔でわかりやすいプレゼンをする様子があちこちで見られました。そして、途中途中で鳥田先生が仰る『相手にわかってもらおうと一生懸命伝えれば疲れるものだ』『内容のレベルはいつでもよい、自分の考えを書くことが大事だ』という言葉が生徒たちの背中を後押ししてくださいました。

今回学んだ技法を使って、日頃からアウトプットするところまで意識すると、「図式化名人 + プレゼン名人」に到達できます。この先、いろいろな場面で活用してくれることを期待しています。



## 3年生個人課題研究(卒業研究)校内成果発表会を行いました

12月19日(木)3年生個人課題研究(卒業研究)校内成果発表会を行いました。これは、普段の学習では得難い自主的な研究活動を通して、自分の考えや意見をまとめることを目的に、昭和44年から現在まで代々続いています。

3年生「総合的な探究の時間」の地域創造学習の一環として、自分の興味・関心のあること、自身の進路希望・将来にかかわることの中からテーマを決め、これまで個人研究に取り組んできました。書籍やインターネット等を使い調べてわかったことや気づいたことから課題を考え、研究の目的を設定し、さらに実験・観察やアンケート、取材などを行いその成果をまとめました。当初はなかなかテーマ設定ができなかったり、研究活動や実験に行き詰ったり、調査が難航したりとそれぞれに苦労がありましたが、発表自体は1・2年生、教職員、地域の方々の前で全員が堂々と立派にできました。これまで培ってきた経験が活かされたものと思います。

3年間の探究活動の集大成として、「交流・発表の掛高」の実践を見ることができました。課題研究に取り組む中で様々な立場の人々との交流があり、今回の発表でそれらを発信し、次の交流へと繋がっていくものもたくさんあると感じました。ただし、3年生個々には失敗やトラブルが生じても次に生かそうと取り組めたか、また合言葉『向き合う。その先に…』Face it. Beyond that…』に対して自分自身に向き合えたか、またその先を見据えることができたかなどぜひ振り返ってほしいものです。1・2年生には、3年生たちが研究に真摯に向き合ったこの姿を、ぜひ受け継いでいってほしいと思います。

ご来場いただきました外部の皆様、研究にご協力いただいた関係機関、関係各所の皆さま、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



## <研究テーマ一覧>

絵本の魅力について  
災害時における外国人対応について  
子どもとの関わり方を学ぼう  
色がもたらす効果  
犬用ケーキを作ろう  
米粉を知ってもらおう  
心理学を用いて図書館に人を呼び込もう！  
アイメイクを研究しよう！  
緑茶のおいしい温度を見つけよう  
掛合町の一式飾りについて知ろう！

生理中に効く食べ物&体勢  
香りがもたらす効果  
加工花の魅力  
色の塗り方によるイラストの印象の変化  
なすを食べられるようになるには  
少人数でも野球をしよう  
魚をさばき料理できるようになる  
図書館の情報を発信しよう～ホームページ作り～  
カメムシを近寄らせない  
どうしたらホームランを打てるか  
筋肉をつける（食べ物や筋トレを意識する）

## 第2回学校運営協議会を行いました

当日の議事録は [こちら](#) →



12月19日（木）15：00から掛合分校音楽室にて、令和6年度第2回学校運営協議会を行いました。委員の皆様には、3年生の卒業研究発表会に引き続き出席していただきました。

発表会の生徒たちの様子について、『一人ひとりが友人や教員の支えとともに自信をもって取り組んでいた』などコメントをいただきました。また、今年度のこれまでの取組について評価やご質問等をいただき、意見交換では学校運営に関する事、教職員の人事要望に関する事など貴重なご意見をいただくこともできました。たいへん有意義な時間を過ごすことができました。

第3回は3月を予定しております。委員の皆様には引き続きお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

## 3学期始業式を行いました

1月8日（水）3学期始業式を行いました。

18日間の短い冬休みでしたが、穏やかな天気が続く年末年始を過ごせました。しかし、昨日からはその反動か？強風に雪まじりの荒天が続きます。アルバイトに精を出した1・2年生、自動車学校へ通い始めた3年生と、それぞれに慌ただしく、様々な体験をしました。これらの経験を生かして、短いなかでも、たくさんの行事が目白押しの最後3学期を乗り切ってくれることを期待します。

始業式では、校長先生から「一年の計は元旦にあり」と話を切り出されました。1年前の1月1日に石川県能登地方で起こった震災と、「皆さんはこの年末年始にどんなことを思い、あるいは考えながら過ごしましたか？みえないものがみえた、そんな瞬間はありましたか？」と2学期終業式で仰った内容から振り返られました。今年度の合言葉『『向き合う。その先に…』Face it. Beyond that …』にある『Beyond』は最近よく耳にする英単語ですが、それに込められた意味について、いくつかの例示とともに、最後には「新年を迎えた今、改めて今の自分の限界を確認する作業から始めてみませんか？その限界をちょっと超えていこうと繰り返すなかで、“本当の自分”に出会えるのかもしれませんが、簡単なことではありませんが、仲間とともに『Beyond』—『その先に』と考えてもいいですね。1年間の締めくくり、3年間の集大成として、それぞれ3学期を大切に過ごしてもらいたいものです。」と結ばれました。

また午後には、毎年度2回ずつ行っている「掛高基礎力テスト」を受験しました。これは「各教科等における学習の過程を通して得られた知識・技能を生活の場面で活用する力を身につける」「社会の中で必要となる知識と、それを足掛かりに考えを深めていく思考力を身につける」ことを目的に、教職員全員が問題作成を担当し、それぞれの専門分野に関する内容をはじめ、昨今の時事問題にいたるまでの幅広い分野について問う、掛合分校オリジナル



の実力テストです。受験後にはオンラインで各担当者から直接解説がありました。その際に、保健室からインフルエンザが蔓延している現状を危惧し、感染症対策として朝ご飯をしっかりと食べる、睡眠時間をしっかりと確保すること、手洗い・うがい・咳エチケットを徹底することの3点を呼びかけました。



3学期初日から、凜とした、また充実した一日となりました。



# かけこ通信

令和6年度 第10号  
令和7年2月12日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校発行(文責:小川)

## 地元企業ガイダンスに参加しました

1月24日(金)5・6限に、1・2年生全員が掛合交流センターを会場にして開催された地元企業ガイダンスに参加しました。これは、島根県商工労働部雇用政策課、雲南市産業観光部商工振興課の協力を得て、毎年度開催する行事です。このガイダンスの目的として、

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 地元企業を理解すること          | 3. 地元での就業と地域の発展につなげること |
| 2. 将来就職する際の選択肢の一つに加えること | 4. 地域と地元企業の魅力を知ること     |

の4つを掲げ、今年度は市内14の企業等をお招きしました。企業の方から直接お話が聞ける貴重な機会となっていて、ご参加をいただく企業は、インターシップ等をはじめとした分校の教育活動に、また卒業生たちもお世話になっている企業等ばかりです。

企業ごとにブースが設けられ、生徒は数名ずつに分かれて、20分単位で1回の説明・質疑応答を4回繰り返して受けました。2年生は昨年度も参加し、2年間で合わせて8つの企業等から説明を受けたこととなりますが、このガイダンスをきっかけに就職先を具体的に考えた先輩たちも多くいます。

説明では、実際の製品を持ち込んだり、施設設備や業務内容を動画で紹介されたりするなど、丁寧でわかりやすく紹介していただきました。また、普段の私たちの日常のくらしや学校生活のさまざまな場面で支えてくださっている実態もわかり、各企業を身近に感じることができたようです。

生徒たちには将来に向き合う貴重な時間となりました。参加企業等は次のとおりです。ありがとうございました。



- 【林業】飯石森林組合
- 【建設業】有限会社堀江クレーン
- 【製造業】株式会社デルタ・シー・アンド・エス
- 島根イーグル株式会社
- 株式会社アルプロン島根工場
- 三刀屋金属株式会社
- 株式会社協栄ファスナー工業

- 有限会社日登工業
- 協栄金属工業株式会社
- 株式会社丸八ポンプ製作所
- 【製造・販売】株式会社吉田ふるさと村
- 【卸売・小売】株式会社ダイイチ雲南家電
- 【飲食業他】株式会社たなべたたらの里
- 【医療・福祉】特別養護老人ホームえがおの里



## 1年生探究学習成果報告会を行いました

1月31日(金)5限に校内で1年生探究学習成果報告会を開催しました。昨年4月12日(金)に、入学したばかりの1年生たちは、2年生から昨年度1年間かけて掛合町内5地区に分かれて取り組んだ地域学習の成果と課題について報告を受けました。そして、1年生はこの日からその先輩たちの取り組みと想いを引き継ぎ、今年度の自分たちの探究活動を始めました。





これまで、毎週の総合的な探究の時間や週末、夏・冬休みに行われた各地区でのイベント等に参加し、地域の方々と直接かかわりながら地域が抱える課題等に向き合い、その解決策を考えてきました。11月15日（金）文化祭1日目にはその中間発表を行いました。聴衆からの質問等にも受け答えし、いただいたアドバイスをもとにその後も試行錯誤を繰り返しました。

本日はこれまでの取り組みと成果等の最終報告の場であり、各地区の担当の方から直接講評をいただきました。昨年度まではこの時期に各地区に1年生が出向きましたが、今年度は校内開催に変更し、2年生にも聴講してもらい、地区担当の方々には他地区の様子も見えていただく機会となりました。



報告のなかには、高校生目線の斬新なアイデアや工夫、先輩たちのアイデアをさらにブラッシュアップしたものなど、感心させられる取り組みが多くありました。



報告会後は、地区別に分かれて懇談会を行いました。地区ごとに1・2年生と地区担当者、担当教員を交え、振り返りや次年度への改善点等を共有しました。

地区ごとの報告資料は下の2次元コードからご覧ください。

【波多地区】



【入間地区】



【掛合地区】



【多根地区】



【松笠地区】



探究学習に関わっていただいた皆様にはたいへんお世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

## 3年生出校日①のプログラムを終えました



それまでに週1日は出校日を設け、それぞれの近況を確認し、学校からの連絡を伝え、併せて外部から講師を招いて講話等を予定しています。

3年生は1月28日（火）期末考査の最終日以降、卒業準備期間に入っています。就職・進学を希望した全員がそれぞれの進路先をすでに内定しています。4月からの新生活に向けて、それぞれの進路に応じた過ごし方をしているところです。卒業式は3月1日（土）に行いますが、



2月5日（水）は松江税務署から「税金とは・給与明細の見方等」と題して租税教室を、山陰合同銀行から「自分の将来とお金の話」と題して資産形成教室をそれぞれ受講しました。



卒業予定者のなかで就職内定者がおよそ半数を占めています。進学予定者のなかにも

アルバイトをしながら学費等を賄う者もいると思います。講話内容には、例えば「給与明細をもらったら……」や「税金とは……」といった税務署・銀行いずれにも共通する話題が多く、生徒たちは個人・グループでのワークショップの場面で興味関心を持って取り組みました。果たして、将来の青写真が描けたでしょうか？

